

CSR 報告書 2014



企業理念

～大林道路からのお約束～

3つのテーマからなる、大林道路の企業理念を紹介します。

豊かな生活環境の創造に向けて

社会基盤、産業基盤、生活基盤等において、安全で、快適で豊かな環境を創造し、サービスを提供することにより、人々に真の満足を与え、生活の向上と社会の発展に貢献します。

地域社会と共に歩み

企業行動を営むそれぞれの地域社会において、事業を通じ、また、その地域の一員として溶け込み、地域社会の発展に尽くします。

人間尊重の経営を行います

従業員一人ひとりの個性を生かし、誇りと働きがい、生きがいのある場を提供し、また、当社と関係のある全ての人が幸せとなることを願い行動します。

経営規範

1. 人々の期待に応え、時代を先取りした技術力により、新たな価値を創ります。

人々（社会）の要請・期待に応えることを目指し、時代の先を読んだ創造性あふれる技術開発によって、顧客が満足する新たな価値あるものをつくり、顧客の高い信頼と社会的評価を得るよう努めます。

2. 創造力豊かな人を育て、柔軟な組織のもとで、生き生きとした職場を創ります。

個性を尊重し、創造力を育て、能力を発揮しやすい組織及び能力ある人に報いる制度を築き、従業員が生き生きとして活躍できる「信頼と協調の風土」や創造への挑戦の気風に満ちた「闊達な職場風土」をつくりあげるとともに、安全対策の強化・充実に努めます。

3. 良き企業市民として、社会と文化の発展に寄与します。

環境保全に配慮し、地域社会との良好な関係を構築し積極的な社会貢献の推進を図るとともに、公正で自由な競争と適正な事業活動を推進し、地域社会への貢献と文化の発展に寄与します。また、協力会社との公正で透明な契約の締結及び役割の明確化を図り、合理的な施工・製造システムを確立します。

Contents —目次—

企業理念／経営規範／目次／編集方針	1
トップコミットメント／CSR推進の枠組み	3
コーポレート・ガバナンス／コンプライアンス	5

Topics

災害復旧への取り組み	
平成26年2月発生の大雪の除雪について	7
東日本大震災 復興関連	8
環境商品の提案	9
海外工事	10

豊かな生活環境の創造に向けて

良質な工事・製品の提供	11
価値ある情報の提供	14

地域社会と共に歩み

地域住民との良好な関係の構築	15
地球環境への配慮	17

人間尊重の経営を行います

安全衛生方針	19
人材育成	20

大林道路の事業	21
---------	----

編集方針

大林道路は、2009年から社会的責任の取り組みや考え方をより多くのステークホルダーの皆さまにご理解をいただくため、CSR報告書を毎年発行しています。

報告内容は、左記に示した企業理念の項目に沿った形で内容を構成し、トップメッセージ、2013年度の活動など重要度が高いと考えた項目をできるだけわかりやすくお伝えできるよう心がけ、編集しています。

- 対象組織 大林道路株式会社
- 対象期間 2013年度（2013年4月1日から2014年3月31日まで。一部それ以前からの取り組みや2014年度の活動も掲載）

- 発行時期 2014年10月
（前回 2013年10月発行
次回 2015年10月発行予定）
- 作成部署 CSR報告書作成委員会
- お問い合わせ先
大林道路株式会社 本店総務部 総務課
〒101-8228 東京都千代田区猿樂町2-8-8
住友不動産猿樂町ビル
TEL：03-3295-8860
FAX：03-3295-8392

トップコミットメント

皆様の安心・安全を確保し、 信頼される会社であり続けます。

当社は常に企業理念を念頭において行動し、社会的な責任を果たしていくことがCSR活動の根幹であり、ステークホルダーである皆さまに対し誠意ある企業活動を行う第一歩と考えています。

昨年度は東日本大震災の影響で中断していた常磐自動車道の双葉地区での舗装工事を再開しました。来年のゴールデンウィーク前には仙台まで全線開通し、地域の復興を加速するものと期待されます。

また、ミャンマーに日本の道路舗装技術を普及させる国土交通省のプロジェクトに参加し、現地の舗装技術の向上に貢献することができました。

これからも大林道路は、環境保全や地球温暖化対策など皆様の生活環境をより良いものとする技術の開発に挑戦し、「豊かな生活環境の創造」、「地域社会との共生」、「人間尊重の経営」の企業理念のもと、国土整備を担っていく所存でございます。

これらCSRの考え方や目指すべく方向について、その活動内容を取りまとめました。当社のCSR活動についてご理解いただき、あわせて忌憚のないご意見をお聞かせいただければ幸いです。

2014年10月



2014年7月2日双葉地区舗装工事プラント火入れ式にて



代表取締役社長
長谷川 仁

CSR推進の枠組み

大林道路のCSRは、企業理念を常に念頭に置き「豊かな生活環境の創造」「地域社会との共生」「人間尊重の経営」の実現を目指すことです。

大林道路のCSR活動に必要な第一歩とは「ステークホルダーに対する誠意ある企業活動」と考えています。大林道路のCSR活動はコンプライアンスを基本とし、これまでの企業活動に加えて説明責任や情報開示を企業自らの意思で行い、地域社会への積極的な働きかけを行うことが大切であると考えています。



経営の透明性、健全性を高めるために

コーポレート・ガバナンス、コンプライアンスを基盤とする経営を行っています。

コーポレート・ガバナンス体制

大林道路は、コーポレート・ガバナンスを通じて内部統制していくことがコンプライアンス経営の根幹であり、健全な企業として発展していく上で不可欠な要素であると考えています。

その考えのもと、事業活動に対する説明責任や経営の健全性、効率性および透明性の向上をめざして、また正しい経営判断を行い、実行できるよう取締役会、経営会議、企業倫理委員会などで十分審議し、適宜、監査役会に報告し、適切な監査を受けています。

また、企業会計については、独立の立場である会計監査人から監査を受けています。

内部統制体制／コンプライアンス

- 企業倫理綱領行動基準（2002年制定）において「反社会的勢力との関係遮断」を定めており、従業員研修などの場での反復教育・指導により周知徹底を図っています。
- 企業倫理遵守のための基本方針を策定し、定期的に企業倫理委員会を開催することで、企業倫理遵守の徹底を図っています。2013年度は、6回の委員会を開催しました。
- 経営の健全化を目的として、内部通報制度を設けています。通報内容については、直ちにその事実関係を調査し必要な処置をとっています。
- 内部監査担当部署による各部門の業務執行状況、コンプライアンスおよび財務報告に係わる内部統制システムの監査を定期的実施しています。2013年度は、全店において実地監査を行いました。

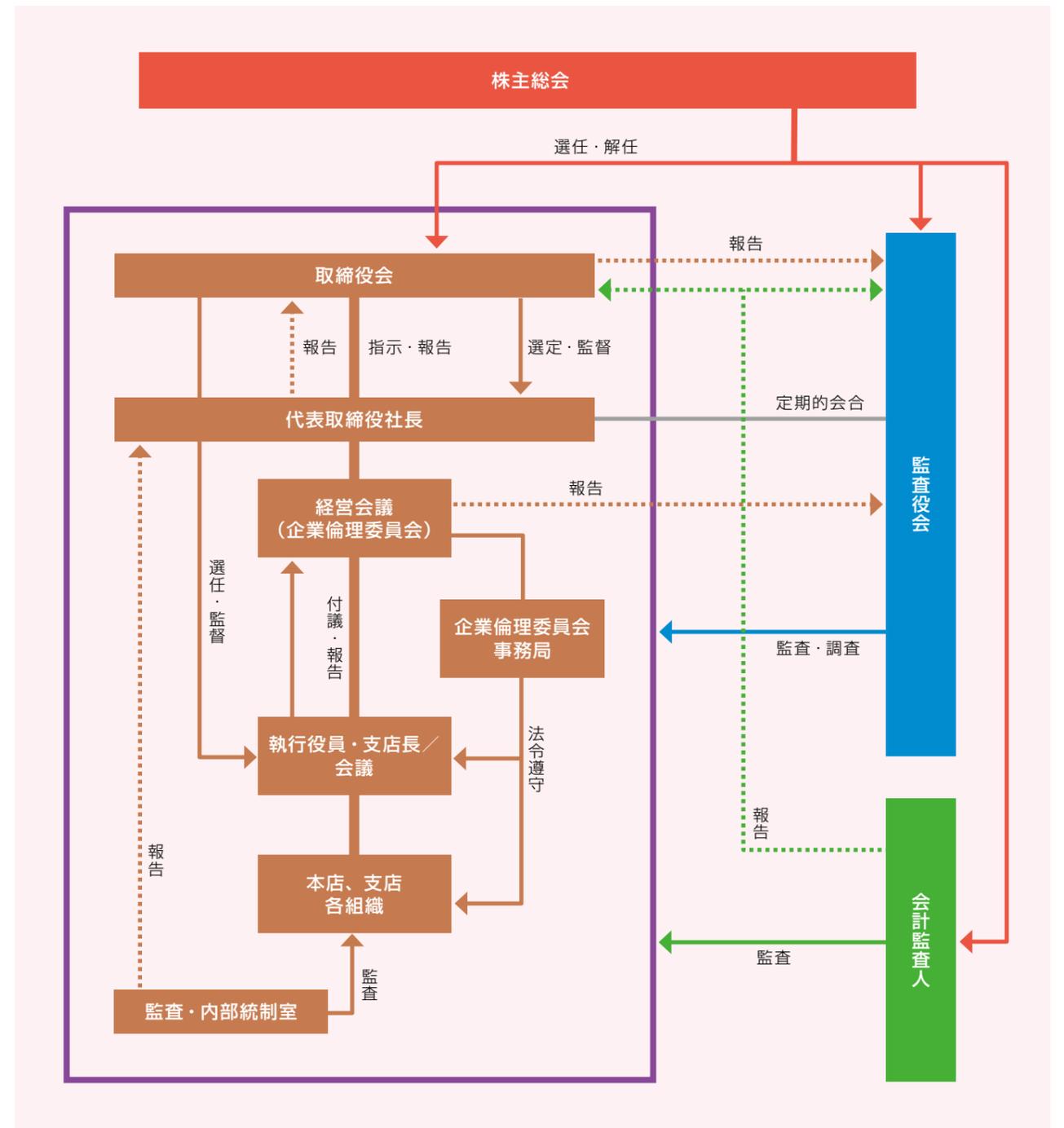
危機管理体制

- 危機管理対策規程を整備、運用し、危機を未然に防ぐとともに、万一発生した場合にも迅速かつ適切な対応ができるよう対策をとっています。
- BCP（事業継続計画）を策定し、自然災害など予期せぬ事態が発生した時にも事業が継続できるよう対策をとっており、お客様や地域住民への復旧支援、災害対応を実施できる体制をとっています。

情報管理体制

- 情報資産のセキュリティに関する基本方針を定め、緊急事態の発生に備えた予防対策を講じています。また、セキュリティ教育、不適切ソフトの調査、設問形式による従業員へのアンケート実施など、随時啓蒙活動を行っています。
- 個人情報取扱規程を整備、運用し、個人情報を適正に取り扱っています。
- 経営の重要事実に関して情報管理を行い、不正な取引が行われぬようインサイダー取引防止規程を整備、運用しています。

コーポレート・ガバナンス体制図



災害復旧への取り組み

平成26年2月発生の大雪の除雪について

発注者：札幌市
 工事名：北区南地区道路維持除雪業務



この工事は、札幌市北区南地区の道路の維持管理を1年間行うものです。道路の安全確保のためのパトロールを行い、不具合箇所があれば補修のための工事を行っています。また、交通事故が起きた場合は事故処理を手伝い、交通開放後に通行車両に支障のないように対応したり、豪雨により道路が冠水し通行止めとなった場合は24時間体制が必要とされる対応をしています。



冬期は除雪センターを開設し、モーターグレーダーやタイヤショベルを使用した車道の除雪作業、大型ロータリー車によるダンプトラックへの積雪の積み込み作業、郊外への運搬作業、融雪剤散布車を使用した散布作業を24時間体制で地域住民への対応を行っています。札幌市は、人口約190万人の大都市です。世界的でも人口100万人を超える都市で毎冬約6mの降雪が

ある都市は珍しく、近年は人手不足や作業員の高齢化、ダンプトラックの減少等の問題により除雪困難地域となっています。しかし、除雪が十分に行われなければ交通渋滞やスリップによる交通事故などの重大な問題が発生する危険性が高まりますので、地域住民の方々の快適な生活を確保するために、各担当者がそれぞれ使命感を持って日々奮闘しています。

感謝状を受領

発注者：国土交通省関東地方整備局
 工事名：四ツ木地区安全施設改修ほか(その2)工事

関東地方で2週間続けて記録的な大雪に見舞われた際、施工区間前後の約1kmの新四ツ木橋歩道部及び階段部の除雪をしました。前日より大雪の予報であったため、降雪前に路面凍結防止対策を行いました。予想以上の大雪に見舞われたため当社工事区間外の除雪についても自主的に対応しました。また、深夜には所轄警察から国交省へ除雪要請があり、その除雪作業も当社で対応し、地域防災の一端を担うことができました。



発注者：国土交通省関東地方整備局
 工事名：H24大宮国道管内交通安全対策他工事

記録的な大雪に見舞われた際、大宮国道事務所との災害時協力協定により依頼を受け、当社の除雪担当区間は国道17号線浦和地区でしたが、国道16号線の入間地区にスタック車両が多数あり通行止めが続いていたため、急遽その区間の除雪も依頼されました。依頼後直ちに協力業者と共に現場へ向かいましたが、国道が通行止めとなり現場到着にはかなりの時間を要してしまいました。現地には相当な積雪があったため、付近のリース会社からバックホウを搬入し、人力と併用で除雪しました。その結果20時頃には上下1車線の通行を確保することができ、入間警察の確認後交通開放となりました。さらに、翌日、翌々日は歩道側1車線をふさいでいる雪の排雪作業を行い全面開放することができました。この除雪作業は協力会社5社延べ18名と埼玉営業所職員延べ18名で対応しました。



発注者：国土交通省関東地方整備局
 工事名：新宿地区改良等工事

工事期間中の平成26年2月8日と2月14日、45年ぶりの大雪に襲われました。2月8日は早朝から雪がちらついたので、職員と作業員で凍結抑制材を歩道全面に散布することとし、8:00～20:00、20:00～翌朝8:00までの24時間を2交代で対応しました。また、2月14日は夜半から大雨に変わり、それまでの積雪で雨水が遮断され、西新宿一丁目交差点の車道が冠水し、横断歩道も歩くことができない状態になりました。そのため、横断歩道上の除雪を行い、歩行者が安全に通行できるようにしました。新宿駅は1日14万人の歩行者が往来し、歩行者が途絶えることのない場所であるため、歩道を確保しながらの除雪作業でした。



東日本大震災 復興関連

平成25年度も東北支店管内の福島・宮城・気仙沼・釜石の各営業所で東日本大震災の復興事業に取り組んでいます。

JR大船渡線のBRT(バス高速輸送システム)化に関わりました

2011年3月の東日本大震災で気仙沼線、大船渡線が甚大な被害を受けました。鉄道復旧の検討と並行して、できるだけスピーディに安全で便利な高速輸送サービスを提供できるよう、「BRT」による復旧を進められています。大林道路は大船渡から小友までの施工延長13.4kmの軌道構造をBRT専用道に改築するため、舗装工事中心に関わりました。



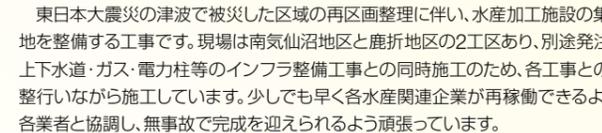
概要	
●件名	東北地方太平洋沖地震に伴う災害復旧(大船渡線復旧1.2)
●元発注者	東日本旅客鉄道(株)東北工事事務所
●発注者名	鉄建建設(株)・ユニオン建設(株)共同企業体
●施工場所	岩手県陸前高田市～大船渡市
●施工延長	L=13.4km
●担当事務所	東北支店気仙沼営業所
●現場代理人	山本秀人

発注者：環境省
 工事名：平成25年度富岡町片付けごみ仮置き場敷地造成工事

当工事は、富岡町民の帰還のため、片付けごみ等(対策地域内廃棄物)の仮置きや選別を行うための敷地を整備する工事です。工事は、別途工事の除染工事が完了した箇所から着手していきます。工程的には厳しいですが、無事故で完成させるため、作業に携わる全員が一丸となり工事を進めていきます。今後も福島県内の復興、東北地方の復興に貢献していくつもりです。

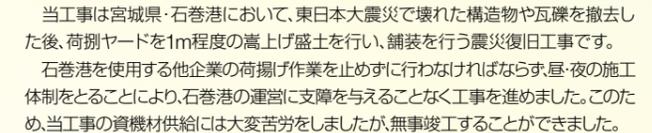
発注者：気仙沼市
 工事名：平成25年度第288号
 気仙沼漁港水産加工施設等集積地盤整備工事

東日本大震災の津波で被災した区域の再区画整理に伴い、水産加工施設の集積地を整備する工事です。現場は南気仙沼地区と鹿折地区の2工区あり、別途発注の上下水道・ガス・電力柱等のインフラ整備工事との同時施工のため、各工事との調整しながら施工しています。少しでも早く各水産関連企業が再稼働できるよう、各業者と協調し、無事故で完成を迎えられるよう頑張っています。



発注者：仙台市
 工事名：中島埠頭荷捌地災害復旧工事

当工事は宮城県・石巻港において、東日本大震災で壊れた構造物や瓦礫を撤去した後、荷捌ヤードを1m程度の嵩上げ盛土を行い、舗装を行う震災復旧工事です。石巻港を使用する他企業の荷捌げ作業を止めずに行わなければならない昼・夜の施工体制をとることにより、石巻港の運営に支障を与えずに工事を進めました。このため、当工事の資機材供給には大変苦労をしましたが、無事竣工することができました。



東日本大震災 復興関連

発注者：東日本高速道路株式会社

工事名：常磐自動車道 双葉地区舗装工事



双葉工事事務所
長井 伸芳

当工事は東日本大震災の影響を受け一時中断していましたが、工事区間内の除染作業（別途工事）も完了し、土工事（別途工事）からの引き渡しを受けた箇所より当工事の施工を開始しています。
当工事施工区間の約7割が帰還困難区域内にあるため、工事従事者の被ばく管理を確実に日々施工を行っています。
常磐自動車道の開通が福島県双葉地区の復興を加速させるものと期待されていますので、職員・協力会社従業員が一丸となり早期開通を目指し努力していきます。



楢葉PA 上り線 路盤準備工 4月下旬



楢葉PA 上り線 路盤準備工 4月下旬



松倉沢橋～STA97+60 加熱アスファルト安定処理路盤工 8月下旬

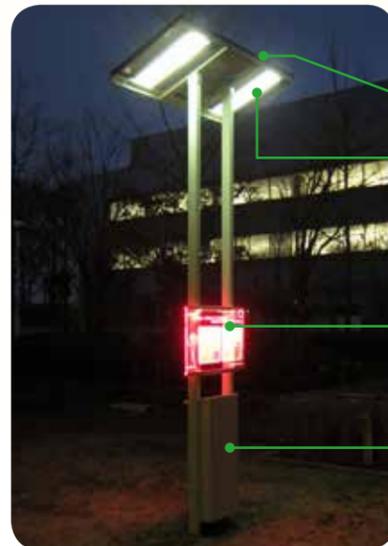


前田川橋～上羽鳥橋 加熱アスファルト安定処理路盤工 8月下旬

環境商品の提案

導光板ECO Light & ソーラー発電LED街路灯

大林組技術研究所内に導光板サイン付きのソーラー発電街路灯を設置しました。導光板ECO Lightはアクリル板やガラス板の板面を光らせ、照明や広告・サインとして街に彩りを加える製品です。自由なデザインでカラフルに明るく発光させることができ、ソーラーパネルと合わせて、自家発電する電気代ゼロのサイン灯、街路灯を提案しています。



●ソーラーパネル
●LED導光板照明

●LED導光板サイン

●タイマー・コントローラー
●バッテリー



海外工事

ラオス：国道9号線整備工事

平成24年度に(株)大林組・大林道路(株)JVとしてラオス国道9号線（メコン地域東西経済回廊）整備工事を受注し、平成27年3月完成を目指して現在も施工中です。



着工前



完成区間

概要

- 工事名：ラオス国道9号線（メコン地域東西経済回廊）整備工事
- 工期：2012年4月26日～2015年3月31日
- 工事場所：ラオス人民民主共和国サバナケット県
- 工事概要：2000～2002年に無償援助案件として改修された国道9号線（約133km区間）のうち、損傷区間の改修工事（工事延長58.1km）
- 既設舗装撤去／新規路盤／舗装 L=49.085km
- 再利用路盤／舗装 L=8.750km
- コンクリート舗装 L=0.265km
- 排水工事 L=101.800km
- 付帯工事 1式

現地担当者の声



工事主任
丸山 敦裕

2014年4月末時点で、施工を開始して1年5カ月が経過し、工事の進捗は75%程度です。撤去工、下層路盤工はほぼ完了し、路盤工・基層工を施工しています。
昨年度は、採掘していた骨材の品質低下の問題や使用機械の部品調達の問題で苦労しましたが、それらの問題を解決し、現在は順調に施工を行っています。
また、50km程度離れた第2工区の作業も開始し、間近に迫った雨期までに少しでも多く舗装を行うべく、2台のフィニッシャーで舗設作業を行っており、一日も早く完成することを目標に今後も安全に作業を進めていきたいと思っています。

北嶋機械主任が瑞宝単光章を受章



現在この工事を担当している北嶋義雄主任が2013年11月に瑞宝単光章を受章しました。
入社以来40年に渡り道路建設工事に従事し、高い技術で多大な実績を残すとともに、後進の指導育成や安全衛生活動にも積極的に取り組んできた点が評価されました。

ミャンマー：平成25年度 道路舗装技術モデル事業による海外普及性調査業務

日本の道路舗装技術を海外に普及させるための調査業務の企画提案書を平成25年8月に国土交通省へ提出しました。審査の結果、当社の企画が採用され、国土交通省と業務契約し、ミャンマー国エヤワディ地域タヌビュー（ヤンゴン市から約70km西）で路上再生路盤工法のモデル施工と技術指導を現地で行いました。

現地担当者の声



管理技術者
鈴木 大嗣

今回の業務を行ったミャンマーは2011年に軍政が解かれるまで諸外国との交流が限られていたため、道路の整備においても機械化が進んでおらず、浸透式マカダム舗装という簡易舗装が主流であり通行車両による道路の損傷が多く見受けられました。
今回の業務では、これらの不具合を特殊大型機械により解消できる工法であったため、試験施工時には建設大臣・副大臣や自治体の技術者の視察やテレビ取材が来るほど注目を集めていました。
現地の技術者や作業員の方々に施工技術を指導しましたが、彼らも一生懸命取り組んでくれ無事に業務を完了することができました。
業務完了後、沿道住民や利用者からも好評を得ることができ、非常にうれしく思っています。



現地自治体技術者 現場見学



路上再生路盤工法 施工状況



機械操作指導



ミャンマー建設省 副大臣現場視察



公共事業庁道路試験所 打合せ状況



公共事業庁総裁との打合せ



ミャンマーでの在来工法

豊かな生活環境の創造に向けて

良質な工事・製品の提供

方針に基づき、ニーズに応じた高い品質を確保します

大林道路の品質の維持・向上への取り組みと、安全・安心な環境の創造に資する技術を紹介します。

品質方針

私達は確かなものづくりにより顧客・社会からの信頼に応えます。

- ①顧客・社会からの要求に対する迅速な対応
- ②人材育成及び業務の継続的改善に努め確かな技術を製品に反映

施工技術発表会の開催

11月19日に墨田区曳舟文化センターにおいて第23回(平成25年度)施工技術発表会を開催しました。

メインテーマ「風たちぬ いざ…」

社歌となっているこのフレーズを「現場の創意工夫を全店に水平展開する」という施工技術発表会の趣旨と「大林道路の社員として先輩方から受け継いできた技術と精神を原点に立ち返って見つめ直す」という意味を併せたテーマとして、14名が発表を行ったほか、ポスターセッションによる技術開発報告会も併せて開催しました。



●新技術 道路空間マネジメントシステム「新たな維持管理技術の提案」

「FRIM」(Road Information Management system)

FRIMは、MMS(Mobile Mapping System モービル・マッピング・システム)を基本とした計測装置です。MMSとは、GPS・レーザスキャナ・慣性計測装置等を搭載した計測車両で、走行しながら道路(路面)のみならず周辺構造物や地形といった道路空間を3次元データとして蓄積することができ、道路維持管理の効率化や高度化が図れます。



●新たなゴム粒子入り凍結抑制舗装

大林道路はゴム粒子を混入する凍結抑制舗装の我が国におけるパイオニアとして、さまざまな条件に適用する技術の開発とこれまでに数多くの施工実績を有しています。

舗装表面および混合物中のゴム粒子が交通荷重によりたわむことで雪氷が破碎・除去され、路面露出が促進されます。

これまでに密粒ギャップ型の「ルビット舗装」、ポーラス型の「オークサイレント」、表面処理型の「RAペープ」がありましたが、新たに「粗面型砕石マスチックタイプ：アイストッパー R」と「薄層ゴム粒子入り凍結抑制舗装：アイストッパー T」を商品化しました。

「アイストッパー R (iCESTOPPER-R)」

砕石マスチック混合物(粗面型)にゴム粒子を散布・混入した凍結抑制舗装です。

特長

- ①凍結抑制効果
 - ・ゴム粒子および舗装表面を粗面とすることで冰雪を破碎・除去します。
- ②水膜発生抑制効果
 - ・表面のきめ深さにより、雨天時の水膜発生抑制効果を有しています。
- ③高耐久性
 - ・粗面型砕石マスチックと同様の骨材飛散抵抗性、耐流動性や耐水性が得られます。
- ④低騒音効果
 - ・きめ深さとゴム粒子により低騒音効果を発揮します。
- ⑤副次効果
 - ・舗装表面の凹部により、凍結防止剤の残留効果を高めます。

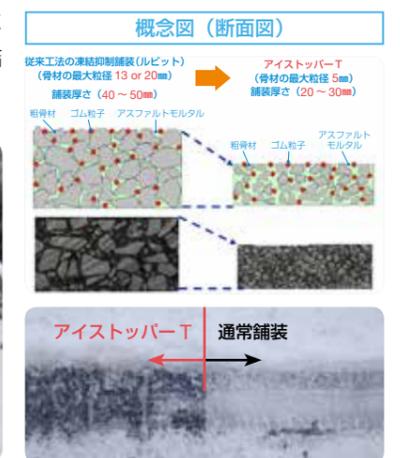


「アイストッパー T (iCESTOPPER-T)」

骨材の最大粒径を5mmとするとともに、混入ゴム粒子を従来のものとは異なる薄層混合物に適した特殊ゴム粒子を使用することで、厚さ20mmからの施工を可能とした「薄層タイプ」の凍結抑制舗装です。

特長

- ①凍結抑制機能
 - ・ゴム粒子で冰雪を破碎・除去します。
- ②薄層化の実現
 - ・厚さ20～30mmで施工可能なため施工厚が制限された橋梁や薄層オーバーレイなどに適用できます。
- ③低コスト
 - ・薄層化の実現により建設コストを低減できます。



良質な工事・製品の提供

東北支店 田野畑アスファルト混合所 (三陸アスコン共同企業体)の完成 (平成25年5月29日)

東日本大震災で甚大な被害をうけた三陸地方の復興に貢献できるように地域密着型のプラント運営を目指します。



中国支店 船木アスファルト混合所の リニューアルオープン(平成26年3月4日)

多種多様なニーズにお応えすることできるように設備・能力を一新し、1時間当たり約80tの合材製造が可能となりました。これからも山口営業所と連携し、より一層の地域社会の発展を目指します。



太陽運輸倉庫棟東物流センター新築工事

本工事は、物流業界の中堅を担う日恵グループ様より「北関東の中心拠点となる新物流センターを」との要請に、設計施工にてお応えしたものです。



事務所、倉庫他、クリーンルームを備えた作業スペースも併せ持つ多機能なセンターとすべく協議を重ね、無事お引渡しすることができました。

プロジェクト概要

- **工事名** : 太陽運輸倉庫棟東物流センター新築工事
- **発注者** : 株式会社サム・トータルサービス
- **工事場所** : 群馬県北群馬郡榛東村広馬場
- **工期** : 平成25年12月1日～平成26年3月31日
- **工事概要** : 鉄骨造平屋建
- **延床面積** : 3,042.38㎡
- **現場代理人** : 関東支店群馬営業所 吉富 裕記
- **建築担当者** : 本店営業部建築課 大塚 正博

発注者である日恵物流グループの 日下守会長に、本件工事の評価について コメントをいただきました。



日恵物流グループ
会長
日下 守様

私たちが当初想像していた以上に立派な物流センターに仕上げられました。短工期の中、2月の2度の大雪で現場は大変な思いをしたと聞きましたが、全力で対応していただき、納期も守っていただき感謝しています。貴社の関係者皆さまの本気で取り組む姿勢が伝わってきました。



価値ある情報の提供

お客様にご満足いただくために

大林道路はさまざまな機会を通じて、「価値ある情報」を提供しています。

第30回日本道路会議への参加

日本道路会議は、道路の行政、建設、維持修繕、都市計画および道路交通に取り組んでいる全国の関係者が参画して、研究成果を発表し、意見を交換する(公)日本道路協会が主催する2年に1度の国内最大の会議です。平成25年10月30～31日に開催され、大林道路から発表5編、ポスターセッション4編で参加し、最新技術の情報を日本国内に発信しました。



タイトル	
発表	CO ₂ 排出量を低減した再生コンクリート舗装の適用事例
	施工性に配慮した小型コンクリートフィニッシャー
	高じん性セメントボードを用いた路面段差抑制舗装の検討
	三次元点群データを用いた新しい路面性状評価手法の一検討
ポスター	樹膠結合型土系舗装の施工事例
	景観性に配慮した保水性舗装
	ハイブリッド凍結抑制舗装
	目地給水型保水性ブロック舗装

技術フェアなどの参加

全国でさまざまな展示会に参加しています。各地域にあった新技術をパネルや模型、ときには実演を挟みながら、大勢の道路管理者や一般の方々を紹介しています。



フェア名	開催場所	フェアテーマ	開催日時	出展技術
EE東北'13	夢メッセみやぎ	世界が驚く復興目指せ！ 新技術が築く未来の東北	H25.6.5 ~ H25.6.6	アイストッパー CCF
下水道展'13東京	東京ビックサイト 東4・5・6	世界に誇る技術の祭典	H25.7.30 ~ H25.8.2	光硬化工法
平成25年度 建設技術報告会	朱鷺メッセ(新潟)		H25.10.2 ~ H25.10.2	アイストッパー
けんせつフェア 北陸 in 金沢2013	石川県産業展示会	みて、ふれて、知る 新技術・新工法	H25.10.18 ~ H25.10.19	アイストッパー 光硬化工法
建設技術フェア 2013in 中部	吹上ホール (名古屋市中小企業 振興会館)	豊かで安全な暮らしと 調和をめざして	H25.10.24 ~ H25.10.25	アイストッパー メチカラベープ 涼量 ルビット舗装 オークサイレント
建設技術展2013 近畿	マイドーム おおさか	ええもん(技術)使って ええもん創る!	H25.10.30 ~ H25.10.31	涼量 アイストッパー メチカラベープ Fi-mix工法 スラリバック
ハイウェイテクノ フェア2013	東京ビックサイト 西3ホール西4ホール		H25.11.7 ~ H25.11.8	スラリバック アイストッパー 涼量 メチカラベープ
建設技術フォーラム 2013in 広島	広島県広島産業会館 西展示館	見る・聞く・ふれる 国土建設フェア	H25.11.22 ~ H25.11.23	涼量 メチカラベープ

NHK取材協力「大!天才テレビくん」

NHK Eテレ番組「大!天才テレビくん」の取材が機械センターで行われました。内容は、アスファルトフィニッシャーの紹介と子役に実際に運転してもらいアスファルト舗装の施工を体験するというものです。

取材当日、アスファルトフィニッシャーの仕組みや機能、役割などについて説明し、乗り物紹介映像として撮影後、子役の女の子に乗りしてもらい操作の体験と、実際に合材を使用したアスファルト舗装の施工を当社職員のレクチャーのもと、体験してもらいました。子役の女の子も楽しそうに運転していた印象があります。

取材後の11月19日に「大!天才テレビくん」のコーナー「乗りすけさん」にて数分間放送されました。



地域社会と共に歩み

地域住民との良好な関係の構築

各種活動で地域に貢献します

大林道路は、良き企業市民として社会文化の発展に寄与していきます。

●中国支店

東広島バイパス瀬野南地区舗装工事

東広島バイパス安全協議会を代表して安芸区民まつりに参加しました。工事体験コーナーや建設機械に触れることができるちびっこ教習所コーナー、工法紹介コーナーを設け、地域のみなさまとふれあうことができました。



現場代理人
西村 浩一



監理技術者
山本 紀彦

●北信越支店

水明橋・小川・石原舗装

現場付近のバス停が積雪のために利用者の乗降や歩行者の通行が困難な状況になっていました。そのため、皆さんが安心して利用できるようバス停周辺の除雪を行いました。



工事責任者
坂上 剛

●九州支店

東九州道(鹿屋~曾於) 荒谷地区舗装工事

曾於市で開催されている弥五郎どん祭りの実行委員会より、花車を移動させる際の誘導を依頼されました。普段よりご協力いただいている地元住民の方々のため、当社の現場担当者総出で対応しました。祭りの後、実行委員会より感謝状をいただきました。



現場責任者
福田 弘明

●大阪支店

清滝生駒道路 清滝地区舗装工事

浪速国道工事事務所が行う現場見学会において情報化施工の仕組みやコンクリート舗装の機械について施工現場にて説明しました。普段では体験できないことですので、大変興味を持ってもらえました。



現場責任者
友滝 康平

●四国支店

佐川管内 舗装修繕工事

この地域には8月8日に88クリーンウォークという環境美化活動があります。今年は日頃からご協力いただいている地元の方々と共に日高村役場から小村神社までの約2kmの道路を清掃しました。



現場責任者
石田 博稔

●中部支店

平成24年度 23号豊橋東BP 東細谷西舗装工事

工事現場近隣の細谷小学校の3・4年生の児童を現場見学会に招き、工事で使用している重機に乗る体験や排水性舗装の排水機能を体験してもらいました。児童からの質問も多くあり、子どもたちも道路に関心があることがわかりました。後日見学会に参加した児童から感謝のこもった手紙をもらいました。



現場責任者
伊藤 肇

●本店

赤い羽根共同募金に協力

全国の事務所に設置してある飲料自販機の売上に応じて、赤い羽根募金に協力しています。今年度は15万円の寄付をすることができました。



●北海道支店

一般国道40号 稚内市外 抜海舗装工事

豊富バイパス北インター入口から更喜苫内地区に至る国道40号線の14km区間に捨てられているゴミを他工事施工業者と協力して回収し、沿線の美化に努めました。この活動は地元新聞にも取り上げられました。



現場責任者
高江 正之

●東北支店

笈川地区舗装工事

この地域は積雪が多く、朝夕は路面凍結により滑りやすくなり歩行者が転倒する危険性がありました。現場内の歩道が通学路となっていたため除雪・融雪を行うことにより、通学時の学童の安全に寄与できたと思います。



現場責任者
廣長 義紀

●関東支店

平成24年度 五霞地区 県道付替工事

現場近くにある五霞第一幼稚園・川妻保育園の園児たちを現場に招き、建設機械の乗車体験や舗装面でのお絵かき体験などをしてもらいました。園児たちにとっては楽しい思い出となったことと思います。



現場責任者
石井 義昌

常磐自動車道 谷和原管理事務所 舗装補修工事

つくばみらい市と守谷市内の小学生と保護者の方を対象として行われた「夏休みハイウェイ親子見学会」に舗装用の建設機械や工事用車両を展示し、見学者の方々に説明をしました。



現場責任者
大畑 秀之

地球環境への配慮

地球環境と調和した企業経営に取り組んでいます。

地球環境に対し、「大林道路はどのように貢献できるか」を常に考え、実践しています。

環境方針

私たちは地球や地域を汚染から守るため、環境経営に取り組みます

- ① 法律や倫理に対して誠実な対応を行い、社会から信頼される会社を目指します。
- ② 「もったいない」気持ちを大切に、資源の有効利用を目指します。
- ③ 当社の環境技術を広め、住みたい街づくりに貢献します。

環境目標

●2013年度環境目標

「原単位当たりエネルギー使用量を前年度比1%以上削減する」

●目標に対する結果

わずかですが目標である前年度比1%削減は未達となりました。2014年度は設備の改善や職員が高い環境意識を持ち続けることで少しでもエネルギー削減ができるよう工夫していきます。

監視測定結果

部門名	内訳(原油換算値)	2012年度	2013年度	構成比率	前年度比	寄与率
オフィス部門	エネルギー使用量合計	851.8 Kℓ	826Kℓ	3.1%	-	3.0%
	床面積1㎡あたりのエネルギー使用量	27.5ℓ /㎡	27.03ℓ /㎡	-	98.3%	
製造部門	エネルギー使用量合計	20,714.3 Kℓ	21,800.7Kℓ	81.1%	-	79.7%
	アスファルト合材 製造1tあたりのエネルギー使用量	13.02ℓ /t	12.8ℓ /t	-	98.3%	
	再生骨材 製造1tあたりのエネルギー使用量	2.84ℓ /t	2.97ℓ /t	-	104.6%	
部門計		25,626.1 Kℓ	26,881.5Kℓ	100%	-	99.2%

エコキャップ運動

ペットボトルを捨てる時はキャップとボトルを分別しています。いくつかの事業場では、エコキャップ運動に参加して、職員の環境意識や社会貢献意識の向上に努めています。



既設管を生かした管路更生「光硬化工法」の普及活動

㈱日本下水道協会が主催する「下水道展13東京」が2013年7月30日～8月2日の4日間、東京ビッグサイトで開催されました。下水道事業に関係する企業や団体など329団体が出展し最新の技術や研究動向が発表され、4日間の総入場者数は88,645人に上りました。

大林道路では2003年に特許を取得したCO₂削減に大きく効果のある管更生工法、光硬化工法(シームレスシステム工法)を広く知っていただくため、子会社の東洋テックス(株)と共に、光硬化工法協会の一員として毎年下水道展へ出展・参加しています。そこで技術説明、施工説明のために地上でデモ施工を行い、環境にやさしい管更生の普及に努めています。



デモ施工



工法イメージ

中国支店 広島アスファルト混合所 中間処理施設の完成(平成26年2月28日)

新中間処理施設は、周辺地域への影響をできるだけ少なくすることを考慮し、騒音・粉じんを抑制するために搬入廃材の荷卸場所および破碎施設を全て建屋で囲いました。

また、1時間あたり100tのアスファルト塊およびコンクリート塊を破碎できる能力を備え、操業時間を極力短縮することが可能になりました。

一昨年にオープンしたアスファルトプラントと共に、広島市を中心とした地域の発展と循環型社会への貢献を目指します。



中間処理施設ではこのように廃材を再資源化しています

現場からの発生材



中間処理施設で破碎



再生材として再利用



メガソーラー発電施設工事への取り組み

近年の地球温暖化現象への対策として、クリーンエネルギーへの関心が高まっています。特に2011年3月の東日本大震災以降、メガソーラー発電施設工事が増えています。大林道路はメガソーラー発電の足下を支える仕事もしています。コンクリート基礎、杭基礎など、現場にあわせた設計施工が可能です。

平成25年12月に九州積水工業様で完成した、ソーラー発電設備についてご紹介します。場所は佐賀県神埼市にある九州積水様敷地内にある調整池です。敷地面積17,500㎡に11,844枚の太陽光パネルを設置しました。発電出力1.36MW、一般家庭400世帯分の電気を発電します。完成した施設を眺めることが出来るウッドデッキに、今現在の発電量がわかる電光掲示板を設置しました。



環境保全活動の効果的推進

環境保全活動の効果的推進のためISO14001の規格に沿った取り組みをそれぞれの事業場で決定し、そのPDCAサイクルを繰り返すことで環境に負荷をかけない事業活動を行っています。



除染作業

福島第一原子力発電所の事故により放射線に汚染された環境回復のための除染作業を、放射線対策ガイドラインに則って実施しています。



高圧吸引洗浄車での除染作業

人間尊重の経営を行います

安全衛生方針

全ての事業場で法令および現場の基本ルールを守り災害発生ゼロを目指します

安全衛生スローガン

繰り返し型労働災害、公衆災害および交通事故の絶滅
～安全ルールの厳守～

安全衛生目標

① 災害抑制目標

- 死亡・重大災害発生ゼロ
- 休業4日以上労働災害発生件数5件以下
- 事故災害発生件数130件以下

② 安全目標

- 車両系建設機械および車両による労働災害の防止
- 不安全状態・不安全行動による労働災害の防止
- 公衆災害の防止
- アスファルト混合所での事故・労働災害の防止
- 交通事故の防止

③ 衛生目標

- 社員の健康状態の把握、異常所見者に対する保健指導の徹底
- 協力会社従業員の健康診断の徹底と健康状態の把握
- 職業性疾病（特に熱中症）の防止

安全大会（安全意識の高揚）

毎年6月に全店で安全大会を実施し、前年度の安全成績や事故・災害情報を分析して策定した安全衛生計画（安全衛生対策要項）をすべての工事関係者に周知するとともに事故防止への積極的な取り組みや優良現場に対し表彰を行います。



安全パトロール（安全衛生管理のレベルアップ）

安全パトロールでは、不安全行動や不安全状態を点検することで災害を未然に防ぎ、職場の安全意識を向上させるとともに、安全衛生計画や現場独自の安全ルールの実施状況を確認、指導します。



交通事故防止対策

各事業場には必要に応じ安全運転管理者を配置し、安全運転の意識向上教育を実施しています。また、事故率、損害率の高い追突事故に対しては衝突防止補助システム（モバイルアイ）、後退時の後方視界確認のためにはバックアイカメラを連絡車に装備して事故防止に努めています。

安全ニュースの発行

事故・災害事例やその時々に関する安全に関する運動、熱中症対策など労働安全衛生に関する情報の発信、共有化を継続的に行っています。



安全衛生活動

労働安全衛生マネジメントシステム（OSHMS）

全ての事業場では労働安全衛生マネジメントシステムを基本に安全衛生活動を行います。平成25年度にはシステムの継続的な質向上と安全意識の強化を目指し、関東支店と九州支店で建設業労働災害防止協会のコスモス認定を取得しました。



関東支店認定取得



九州支店認定取得

人材育成

創造と挑戦の意欲に満ちあふれた人を育成します

教育制度

自己研鑽、OJTを基本とし、成長に合わせ必要となる知識を習得を目指し教育を実施しました。



● 新入職員研修



● 新入職員研修報告会



4月に開催する新入職員研修では、社会人としての必要なマナー教育のほか、技術の専門教育を実施します。また、12月に新入職員研修報告会を開催します。各々の研修内容を発表することで、お互いに刺激を受け、大林道路の職員として意識を高めます。

インターンシップ

学生の専門知識や職業意識の向上をサポートしています。

● 施工管理実習



● 品質管理実習



● 現場見学



工事現場での施工管理や、アスファルト混合所での品質管理の実習、現場見学を行い、仕事に対するやりがいや建設業が社会に果たす役割を理解していただきます。

大林道路の事業

大林道路の事業内容、工事事例、財務状況などを紹介します。

大林道路は、1933年の創立以来、道路建設を基軸とした長い歴史に培われた技術により、人々の生活に密着した道路を核に空港・港湾、通信情報施設・下水道、病院・学校、スポーツレジャー施設・公園、工業や商業の各種施設など社会インフラの整備や豊かな生活環境の実現に貢献していきます。

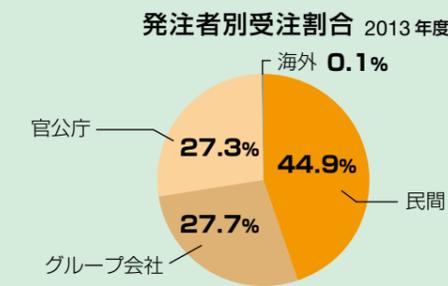
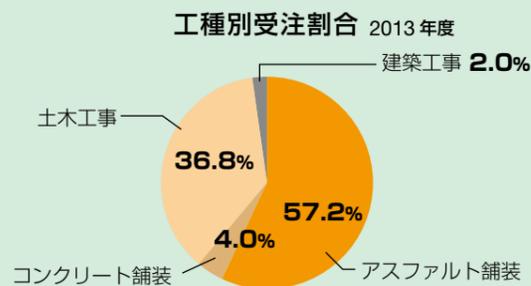
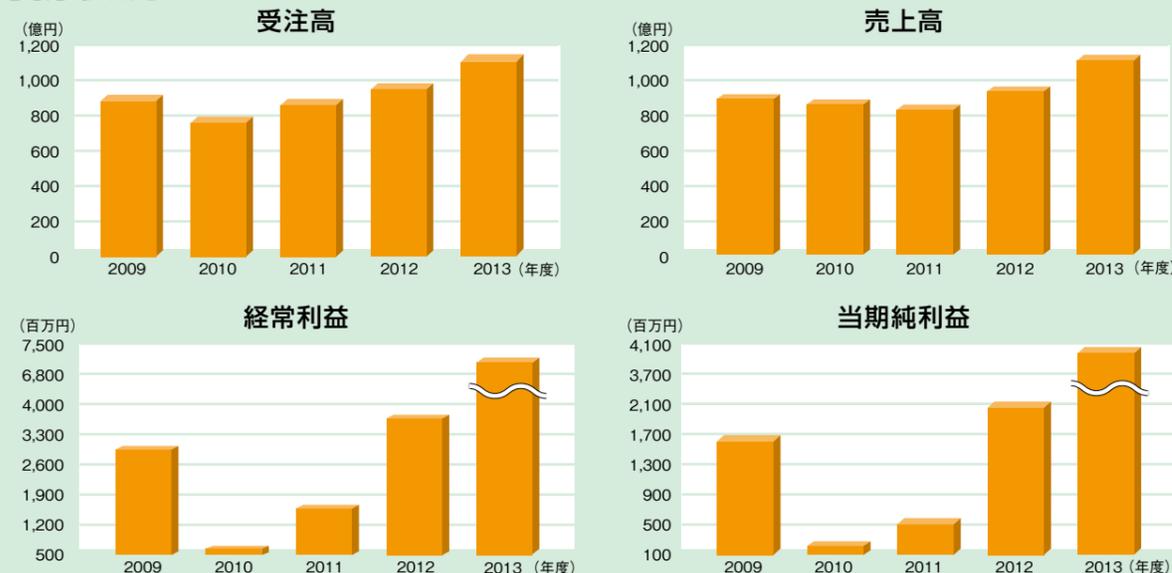
会社概要

- 商号 大林道路株式会社
OBAYASHI ROAD CORPORATION
- 本店所在地 〒101-8228
東京都千代田区猿楽町 2-8-8
住友不動産猿楽町ビル
Tel:03-3295-8860
- 代表 代表取締役社長 長谷川 仁
- 創立 1933年(昭和8年)8月26日
- 資本金 6,293百万円(平成26年3月31日現在)
- 従業員数 986名(平成26年3月31日現在)
平均年齢 42歳
平均勤続年数 18年
- 株式上市 東京証券取引所市場第一部
- 主な事業領域 1. 道路工事、舗装工事、造園、敷地造成工事、
上下水道工事その他の土木工事及び建築工事
2. アスファルト合材等の製造及び販売
3. アスファルト及び
コンクリート廃材の中間処理業務
- 建設業許可 国土交通大臣許可(特-24) 第2523号
(特-26) 第2523号
- 建設コンサルタント登録 建21第4207号 道路部門
- 一級建築士事務所登録 大阪府知事登録(二) 第15214号
- 宅地建物取引業許可 国土交通大臣(6) 第4206号

事業所一覧

- 関東支店 〒101-0052
東京都千代田区神田小川町 3-20
Tel 03-3296-6680
- 中国支店 〒730-0051
広島市中区大手町 4-1-1
Tel 082-243-1966
- 九州支店 〒812-0011
福岡市博多区博多駅前 3-2-1
Tel 092-432-0884
- 四国支店 〒760-0007
高松市中央町 11-11
Tel 087-833-3729
- 技術研究所 〒204-0011
東京都清瀬市下清戸 4-640
Tel 042-495-6800
- 機械センター 〒346-0035
埼玉県久喜市清久町 6-5
Tel 0480-23-6100
- 大阪支店 〒530-0047
大阪市北区西天満 1-2-5
Tel 06-6360-7110
- 北海道支店 〒060-0001
札幌市中央区北一条西 2-9
Tel 011-241-1828
- 東北支店 〒980-0014
仙台市青葉区本町 2-5-1
Tel 022-225-4437
- 北信越支店 〒950-0914
新潟市中央区紫竹山 1-5-6
Tel 025-243-6807
- 中部支店 〒460-0002
名古屋市中区丸の内 2-18-25
Tel 052-222-5161

財務状況



株主・投資家の皆様に対して

「利益配分に関する基本方針」

当社は、株主各位に対して安定的な配当を継続するとともに、財務体質の強化や将来に備えた研究開発、設備投資などを行うために内部留保の充実を図ることを基本方針としています。

「情報開示の適切な対応」

法令開示情報の遵守と適時・適切な情報開示に努めるため、四半期開示を行っています(詳細は、ホームページに掲載しています)。

「企業価値の向上」

当社は、企業価値の維持と向上のため、ISO9001とISO14001を取得しています。

主な竣工工事



関越自動車道 坂戸西スマートIC 舗装工事



舞鶴若狭自動車道 国富トンネル他6トンネル舗装工事



平成25年度155号豊田南BP美山舗装工事



高知自動車道 新宮～須崎東間舗装補修工事



首都高速道路 大井JCT土構造その他工事



ホンダ四輪販売北海道 江別納車センター新築工事